

それは、

あの世に触れる

〈恐怖の革命〉



Духовные
Большевики

霊的ボリシェヴィキ

『女優霊』『リング』『恐怖』
「ホラーの巨匠が切り拓く、かつてない『心霊映画』」

【監督・脚本】高橋洋

韓英恵
巴山祐樹 長宗我部陽子
高木公佑 近藤笑菜 河野知美 本間菜穂
南谷朝子 伊藤洋三郎

【撮影】山田達也 【照明】玉川直人
【録音】白井勝 【音楽】長嶋寛幸
【製作】映画美学校
【配給・宣伝】『霊的ボリシェヴィキ』宣伝部
【配給・宣伝協力】フレイトム

2017年/日本/ビスタサイズ/ステレオ/72分
©2017 THE FILM SCHOOL OF TOKYO



劇場で体感する“心霊現象”

これは映画による“霊的革命”です。(高橋洋)



「ボリシェヴィキ」とは……

ロシア語で多数派の意味。1917年10月のロシア革命、ソビエト政権の樹立以後は、暴力的な共産主義革命を目指す前衛集団の意味で用いられる。レーニンと後継者スターリンによる革命主義は「ボリシェヴィズム」とも呼称される。

人の口から語られる過去が結構怖い。その過去が現実 reality に実体化しつつあると気づいてさらに怖くなる。ところがいつたい、この人たちは何者で、世界に対して何をしようとしているのだろうか……
それがだんだんわかってくるにつれ、いよいよ本当の怖さが訪れる。

黒沢清

映画監督「クリーピー」「予兆 散歩する侵略者 劇場版」



『霊的ボリシェヴィキ』。ディープ・オカルトの世界でのみ秘かに語り継がれてきた謎の言葉……。この言葉をタイトルに冠する極限の映画が誕生した!

『霊的』×『ボリシェヴィキ』(ロシア革命でレーニンが率いた革命党派)。霊と唯物論のあり得ない交錯を1970年代に提唱したのは、神道霊学研究家の武田崇元氏。ジャパニーズ・ホラーを主導し、その後も『恐怖』『旧支配者のキャロル』『予兆 散歩する侵略者 劇場版』と一貫して恐怖映画を追求してきた高橋洋は、20年以上前からこの言葉に取り憑かれ、ついには、かつてないコンセプトによる“心霊映画”を生み出した。

その最初のホン読み(シナリオの読み合わせ)は、「まるでそれ自体が降霊実験のようだった」という(スタッフの証言)。

そして偶然にも、この映画が完成したのは2017年、ロシア革命100周年の年だった……。

そうだ、死だ! ダー、スメルチ Да, Смерть!

主演は、鈴木清順監督『ピストルオペラ』でのデビュー以来、異彩を放ち続ける韓英惠。さらに高橋映画の常連・長宗我部陽子、『秋の理由』の伊藤洋三郎らベテラン勢から若手まで個性派俳優陣が結集した。

これは観客を直接スクリーンの中の“霊気”へと巻き込む、まったく新しい形の“霊的エンターテインメント”である。

高橋洋(監督・脚本)

1959年生まれ。『女優霊』『リング』シリーズの脚本でJホラーブームの立役者となる。

他の脚本作は『復讐 運命の訪問者』『蛇の道』『発狂する唇』『おろち』『予兆 散歩する侵略者 劇場版』など。

2004年『ソドムの市』で長編監督デビュー。

以後『狂気の手』『恐怖』『旧支配者のキャロル』に続いて『霊的ボリシェヴィキ』は監督5作目となる。

STORY

集音マイクがそこかしこに仕掛けられた奇妙な施設。

呼び集められたのは、かつて“あの世に触れた”ことがあるという“ゲスト”と呼ばれる男女たちだった。

その中の一人、由紀子には、幼い頃“神隠し”に遭遇した過去があった。

強すぎる霊気により一切のデジタル機器が通用しないこの場所で、

静かにアナログのテープが回り始める。

やがてテープに記録されてゆくのは、人間の領域を踏み越える禁断の心霊実験だった……。

2月10日(土)よりユーロスペースほか全国順次公開!

前売り券1,200円 ■ 当日券1,400円/学生1,200円/ユーロ会員・シニア 1,100円

渋谷・文化村前交差点左折
ユーロスペース
EUROSPACE
tel 03-3461-0211
www.eurospace.co.jp

